

# 平成24年度決算が承認されました

2年連続の黒字決算も来年度以降は不透明

## 健康保険

経常収入支出差引額  
1億9,264万7千円

決算の基礎数値	
被保険者数	7,385人
平均標準報酬月額	360,835円
保険料率	88.00/1000
事業主	52.25/1000
被保険者	35.75/1000

経常外収入  
9,237万円

- 調整保険料収入 5,015万1千円
- 高額医療交付金 4,029万4千円
- 介護勘定受入 192万5千円

経常収入  
36億9,575万8千円  
臨時的なものを除いた健保組合本来の収入

- その他経常収入 2,703万3千円
- 国庫負担金収入 128万5千円
  - 特定健康診査・保健指導補助金 96万4千円
  - 雑収入 1,822万1千円 など

保険料収入  
36億6,872万5千円  
(1人あたり額 496,781円)

収入

支出

経常外支出  
5,091万1千円  
● 財政調整事業拠出金 4,981万4千円 など

経常支出  
35億311万1千円  
臨時的なものを除いた健保組合本来の支出

その他経常支出  
1,271万2千円  
● 事務費 1,045万7千円  
● 連合会費 203万円 など

保健事業費  
7,637万2千円  
(1人あたり額 10,342円)  
【保険料収入の2%に相当】

納付金  
16億1,012万2千円  
(1人あたり額 218,027円)  
【保険料収入の44%に相当】

- 前期高齢者納付金 6億3,567万円
- 後期高齢者支援金 7億9,090万9千円
- 退職者給付拠出金 1億8,351万6千円
- 老人保健拠出金 2万7千円

保険給付費  
18億390万5千円  
(1人あたり額 244,266円)  
【保険料収入の49%に相当】

## 介護保険

決算の基礎数値	
徴収対象第2号被保険者数	3,577人
平均標準報酬月額	411,896円
保険料率	13.6/1000
事業主	6.8/1000
被保険者	6.8/1000

科目	収入
介護保険収入	3億2,378万8千円
収入合計	3億2,378万8千円

科目	支出
介護納付金	2億9,897万3千円
介護保険還付金	1万円
一般勘定繰入	192万5千円
支出合計	3億90万8千円

先に開催されました組合会において、当健保組合の平成24年度決算が可決・承認されましたのでご報告します。



## 健康保険

### 健保組合を取り巻く状況

健保連が4月に発表した「平成25年度健保組合予算早期集計の概要」では、健保組合全体で4,573億円の経常赤字になる見込みで、赤字組合の割合は約8割、保険料率を引き上げた組合の割合は約4割、高齢者医療制度を支える支援金・納付金の保険料収入に対する割合も46・25%で過去最高となっています。健保組合全体が支援金・納付金に圧迫されている危機的な状況に変わりありません。

政府の社会保障制度改革国民会議での議論も8月21日までとなっており、時間は残り少なくなっていますが、高齢者医療向けの支援金の算

定方式を加入者の収入に応じて計算する「総報酬割」を全面拡大（現在は3分の1）することがほぼ合意されており、健保組合の負担はさらに拡大されそうです。

### 住友コム健保の収支状況

経常収支差引額  
1億9,264万7千円

#### 収入

保険料収入は、母体企業の業績好調などの理由で前年度より約1億3,900万円増加しました。それ以外の主な収入として、高額医療交付金4,029万4千円、施設利用料を含む雑収入1,822万1千円などがありました。それらを加えた収入合計は37億8,812万8千円、補助金や交付金などを除いた経常収入合計は36億9,575万8千円となりました。

#### 支出

みなさんの医療費の支払いに充てられる保険給付費は、前年度より約7,700万円増加しました。また、高齢者医療制度への納付金は、前年度より約2億5,400万円増加しましたが、これは前年度に大きな清算金の払い戻しがあり、前年度の納付金が大幅に少なかったことによりです。団塊の世代がすでに前期高齢者（65歳～74歳）の仲間入りをしており、納付金は今後も増え続けるものと見込まれます。みなさんの健康づくりをサポートする保健事業費な

#### 収支

組合財政の健全性を示す経常収支差引額は、1億9,264万7千円の黒字となりました。ただし、平成25年度以降は納付金が大幅に増加することが確実なため、慎重に財政運営をする必要があります。

## 介護保険

介護保険収入は3億2,378万8千円、主な支出科目である介護納付金は2億9,897万3千円となりました。介護保険料率の引き上げなどで収入が増えたため、2,888万円の黒字となり、全額を準備金に積み立てました。

平成24年度の決算は、母体企業の業績好調などにより黒字で終えることができましたが、平成25年度以降は納付金が増加するのは確実であり、さらに事業の効率化に努め、慎重に運営してまいります。みなさんにおかれましても、医療機関への適正受診やシネリック医薬品の利用、そして日頃の健康管理に留意して、医療費の節減に努めていただきますよう、よろしくお願いたします。